

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和 3年 4月 30日

公表:令和 3年 11月 18日

事業所名 ころこ

		チェック項目	はい	いいえ	現状	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		フロア分けにより十分なスペースを確保出来ている	今後、生活介護の利用者様と一緒に活動することになるので、今まで以上にスペースの有効活用の検討が必要。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用児3人に職員2人が毎日配置出来ており適切と感じる	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリーである	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日のミーティングで話し合う事が出来ている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意向を全て反映することは出来ていないが、対応出来ることから改善への取り組みを行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		1年に1回の公表に努めている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	未実施	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	コロナ禍により外部研修が大幅に減った	コロナ禍が長引くようであれば、オンラインでの外部研修への参加も検討する必要がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○	去年は面談が難しい状況もあり不十分と感じる	対面以外での聞き取りの検討が必要。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	決まったツールは使用していない	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合い立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		基本の活動は固定しつつ、新しいプログラムも取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間に応じてプログラム設定を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用児に合わせて個別、集団の課題設定を行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	学校休業が長引き、毎日の実施が出来ない状況が続いた。前日に確認を行い対応。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		実施出来ている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		実施出来ている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		実施している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	コロナ禍により担当者会議は開催が難しく、事業所毎のヒヤリングのみであった。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	実施出来ている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	指示書の記入を依頼し、確認事項は保護者を介して連携を取っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	利用児全員の受け入れ時には出来ていない。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	サービス担当者会議等で共有。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	外部研修が難しい状況もあり実施できていない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	実施できていない	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	実施できていない	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	必要な情報は連絡ノートや送迎時、電話でお伝えしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	相談があった場合のみ対応している状況	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	契約時に実施している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	実施していない	希望が多ければ場所の提供など行う方針。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	実施している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	お知らせ時の案内や活動写真は配布している。月間のプログラム内容は毎月配布。	定期的会報など希望が多ければ検討したい。
	35	個人情報に十分注意している		○	個人情報等は鍵付き書庫で管理	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	実施している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施できていない	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	ホームページにて公表	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○ 実施できていない	定期的な実施に努める
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	法人マニュアルはあるが、該当事例はこれまでにない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○ 保護者からの情報提供のみ。医師の指示書の提出は求めている。	重篤なアレルギーがある場合、医師の指示書を提出していただくようにする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	実施しているが件数が少ない状況	内部研修等で記入の推進をしている

